

モンゴル全高専インターンシップ・就職セミナー
実施報告書（二版）

2017 年 11 月 20 日

一般社団法人モンゴルに日本式高専をつくる支援の会

開催概要

平成 29 年(2017 年)11 月 9 日午後 1 時から 3 時まで、モンゴル国ウランバートル市にあるモンゴル・日本人材開発センターにおいて、標記の「モンゴル全高専インターンシップ・就職セミナー」が日本・モンゴル外交関係樹立 45 周年記念行事として開催された。セミナーの開催ポスターを下記に示す。



図 セミナーの開催ポスター

一般社団法人モンゴルに日本式高専をつくる支援の会が主催し、モンゴル高専協会 NGO が共催、笹川平和財団、国立科学技術大学附属高専、新モンゴル高専、および IET モンゴル高専が後援した。当セミナーは、2013 年に開設された高専モデルクラス、2014 年に創設されたモンゴル 3 高専学生のキャリア教育の一環として本年夏季に実施した初めてのインターンシップの報告会である。学生による体験発表と受け入れ企業による状況説明を通して、関係者がインターンシップの概要と展望に関して共通理解を図ることを目的として話題が提供された。表 1 は、セミナーの次第である。

表 1 セミナーの次第

モンゴル全高専インターンシップ・就職セミナー				
開催日:2017年11月9日、13:00~15:00				
会場 :ウランバートル市日本人材開発センター				
開場: 12:30~				
時間	項目・内容	内容	発表者・担当	所属
12:30-13:00	受付		ウラー	モンゴル高専
	司会・進行 通訳		井上 徹 ガンゴド	一般社団法人モンゴルに日本式高専をつくる支援の 会副理事長 モンゴル高専、産学連携室長
13:00-13:03	主催者挨拶		中西佑二	一般社団法人モンゴルに日本式高専をつくる支援の 会理事長
13:03-13:06	来賓紹介		井上 徹、ガンゴド	
13:06-13:09	来賓挨拶		菊地 健	在モンゴル日本大使館 公使参事官
13:09-13:12			R・ジグジデ	元大使 / Every day CEO
13:12-13:15			大川直人	チーフアドバイザー/国際交流機構(JICA)専門家
13:15-13:18	日本企業における インターンシップ事 例紹介	日本装芸株式会社の受入れ概要	石森陽一	日本装芸株式会社社長
13:18-13:25		日本装芸株式会社でのインターンシップ	バヤンダライ、ブレブオチル	モンゴル高専、モデルクラス5年生
13:25-13:32		湘南技術センター株式会社でのインターンシップ	トゥグドル	
13:32-13:39		豊橋科学技術大学でのインターンシップ	アリウンゴ	新モンゴル高専、物質工学科4年生
13:39-13:46	モンゴル企業における インターンシップ 事例紹介	東京都品川産業支援交流施設でのインターンシップ	セレンゲ	科技大第高専、電気電子工学科4年生
13:46-13:49		Aizawa Mongol 株式会社の受入れ概要	中村 優太	Aizawa Mongol 株式会社の感想、工場長
13:49-13:52		MUKHIA株式会社の受入れ概要	ホンゴルズル	MUKHIA株式会社の感想、エンジニア
13:52-13:59		MUKHIA株式会社でのインターンシップ	バザン	モンゴル高専、モデルクラス5年生
13:59-14:02		MOBICOMコーポレーションの受入れ概要	ムングンチメグ	MOBICOMコーポレーション、人事開発部部長
14:02-14:09		MOBICOMコーポレーションでのインターンシップ	トゥブシンサイハン、オドエルデネ	モンゴル高専、電気電子工学科4年生
14:09-14:16		Natural essential株式会社のインターンシップ	ムンフチメグ	新モンゴル高専、物質工学科4年生
14:16-14:23		Yunimedia株式会社のインターンシップ	ブリ	新モンゴル高専、電気電子工学科4年生
14:24-14:34	質疑応答	司会	井上、ガンゴド	
14:34-14:45		日本とモンゴルにおけるインターンシップの課題 今後の取り組み方針について	中西佑二	一般社団法人モンゴルに日本式高専をつくる支援の 会理事長
14:45-14:55	まとめ	高専の教育とインターンシップ	バヤンジャルガル	NGOモンゴル高専協会代表、新モンゴル高専校長
14:55-15:00	写真撮影			

当セミナーは、在モンゴル日本国大使館公使参事官の菊池稔様並びに元駐日大使の R.ジグジデ様を初め、国内外から 17 名の来賓を迎えて開かれた。また、インターンシップの体験を紹介する 10 名の学生を含め 3 高専から約 105 名の学生と 15 名の教員らを含め総勢約 150 名が参加した。セミナーは上の表に示す次第に従い、中西佑二一般社団法人モンゴルに日本式高専をつくる支援の会理事長の開催挨拶から始まった。下記に、セミナーの概要を記載する。

内容概要

◆司会 （井上、ガンオド）

これより日本・モンゴル外交樹立 45 周年記念事業の一環として、モンゴル全高専インターンシップ・就職セミナーを開催します。最初に、モンゴルに日本式高専を創る支援の会理事長の中西佑二より挨拶をいたします。



写真1 セミナーの開会宣言 司会 井上 徹、ガンオド

●中西佑二理事長 一般社団法人モンゴルに日本式高専をつくる支援の会

第2回モンゴル国全高専インターンシップ・就職セミナーを開催するにあたり、主催者を代表してご挨拶を申し上げます。本行事は日本・モンゴル外交関係樹立 45 周年記念行事に認定されました。

ありがとうございます。

さて、第1回を昨年5月に開催いたしました。残念ですが、そのインターンシップセミナーの開催に尽力されたモンゴル高専協会 NGO ガンバヤル代表が、この8月に亡くなられた。ご冥福を祈り、黙とうをお願いします。

(黙祷)

今年のこの夏に、高専の学生が日本およびモンゴルの企業の協力でインターンシップを実施しました。その体験を学生が発表します。ここに参加している学生諸君は、今後の進路および就職の参考にしてください。



写真2 主催者挨拶する中西佑二理事長

◆司会

本日のご来賓を紹介します。呼名紹介。

- 菊地稔様 /在モンゴル日本国大使館 公使参事官/
- 山本圭吾様 /在モンゴル日本国大使館 広報・文化班班長/
- R・ジグジット様 /元大使 / Every day CEO/
- 大川直人様 /チーフアドバイザー/国際交流機構(JICA) 専門家/
- 中村功様 /専門家/ビジネス交流支援/
- 石蔵陽一様 /日本装芸株式会社 社長/
- ホンゴルズ様 /MUKHIA 株式会社 エンジニア/
- ムンゲンチメグ様 /MOBICOM コーポレーション 人事開発部部長
- 中村優太様 /会澤モンゴル株式会社 工場長/
- バイガルマ様 /国立高専機構モンゴルリエゾンオフィス 代表/
- ブヤンジャルガル様 /新モンゴル高専 校長/
- ガンビレグ様 /科学技術大学付属高専 校長/
- セルゲレン様 /モンゴル高専 校長/
- 西山明彦様 /IET 名誉教授/
- 菊地章様 /IET 客員教授/
- 川西久子様 /IET 客員教授/
- 宮前奈央美様 /モンゴル国立科学技術大学高専技術カレッジ 副校長（教務担当）/



写真3 参加者 最前列は来賓

◆司会

これより、来賓を代表してご挨拶をいただきたいと思います。
菊池公使参事官にご挨拶をお願いします。

●菊地稔様 在モンゴル日本大使館公使参事官

モンゴル全高専インターンシップ・就職セミナーの開催、おめでとうございます。
日本とモンゴルの外交樹立45周年を記念するのにふさわしい事業であり、歴史に残しておく高専事業である。学生は企業で貴重な体験をしました。日本企業はモンゴルの学生を知り、お互いにとって良い経験をしました。学生が将来、モンゴルの産業の発展をけん引する原動力になることを期待します。



写真4 来賓挨拶をする菊地稔公使参事官



写真5 来賓挨拶をする菊地稔公使参事官

●R.ジグジット様、(元駐日大使、エブリデイ CEO)

モンゴルの高専の学生のインターンシップが皆様の協力で実施されることに感謝申し上げます。
日本モンゴル外交45周年記念事業としてこのたびのセミナーが開催されることになり、支援して頂いたモンゴルに日本式高専を創る支援の会、笹川平和財団、日本およびモンゴルの企業並びに諸団体に感謝申し上げます。学生はインターンシップを通じて実際の技術を学ぶよい機会を得たと思います。産業の振興には人材への投資が大切です。モンゴルの今後の発展に貢献することを期待します。



写真6 来賓挨拶をするR・ジグジデ様

●大川直人様、(日本国際交流機構 (JICA) チーフアドバイザー)

本日お招きいただき感謝します。

JICA はこれまで日本とモンゴルのビジネス交流を図り、日本へのモンゴル紹介に努めてきました。

モンゴルの高専学生諸君はこのたびのインターンシップで学んだ経験を通じて、モンゴルの経済発展に貢献することを期待します。



写真 7 来賓挨拶をする大川直人様

◆司会

日本でのインターンシップの実施事例を、受け入れ企業の代表と高専の学生諸君に発表していただきます。まず最初は、日本でのインターンシップの実施について、日本装芸株式会社社長の石蔵陽一様に報告して頂きます。

●石蔵陽一様 /日本装芸株式会社社長

この夏にモンゴル高専の3名の学生をインターンシップで受け入れました。歴史的な事業に関与できて感謝します。学生は社内での研修、現場視察、並びにフード製作を行いました。日本語で技術用語を学び、大変よく頑張りました。今後も日本とモンゴルのために貢献できればと思います。



写真8 インターンシップ紹介をする石蔵陽一様

◆司会

日本企業でのインターンシップ体験を学生に発表してもらいます。

●バヤンダライ君、プレブオチル君、テルゲル君（モンゴル高専5年、日本装芸株式会社でのインターンシップ）

私たち3人は7月10日から8月4日まで、日本装芸株式会社でインターンシップをしました。会社の製品や技術に関して研修を受け、工事の現場の見学をしました。また空気を送るダクトの製作をしました。また機会があれば、日本の企業に行きたいです。日本装芸の皆様、モンゴルの関係の皆様インターンシップができたことを感謝します。ありがとうございました。



写真9 インターンシップ報告をするバヤンダライ君、プレブオチル君、テルゲル君

●ツグルドゥル君、エンフバヤル君、ムンフバヤル君（モンゴル高専5年、湘南技術センター株式会社でのインターンシップ）

私たちはこの夏に日本企業の湘南技術センター株式会社でインターンシップを行いました。会社の方から会社のマナーや仕事について教わりました。研修としてCADを勉強し、自分たちがほしいキャンピングカーをCADで作成しました。さらに3Dプリンターで模型を製作しました。モンゴル学生が日本企業で勉強する良い機会を与えてくれた湘南技術センター株式会社の皆さんに感謝いたします。



写真 10 インターンシップ報告をするツグルドゥル君、エンフバヤル君、ムンフバヤル君

●アリウンゴーさん（新モンゴル高専4年、豊橋科学技術大学でのインターンシップ）

この夏に日本の豊橋科学技術大学の物質工学科で研究室の大学生と一緒に研究活動に参加しました。触媒の働きをする有機化合物を合成し、クログラフで分離分析して性質を調べました。今後もっと勉強したいと思います。今回のチャンスを与えてくださった皆様に感謝します。



写真 11 インターンシップ報告をするアリウンゴーさん

●セレンゲさん（科学技術大学高専4年、品川区産業支援施設・区内企業でのインターンシップ）

モンゴルの3高専から3名ずつの合計9名の学生（引率教員1名）が9月4日から11日までの8日間にわたり、品川区にある企業、高専、研究センターを視察するとともに、実習を行いました。品川産業支援交流施設を訪問して、品川区の産業状況や3Dプリンターの説明を受けました。また、企業では3社を見学して説明を受けました。（株）勝亦電機製作所では配電盤の組み立て、（株）三ツ矢ではめっきの実習、（株）東京鉸製作所ではアルミのへら絞りを体験しました。さらに都立産業技術高専では、電圧変換器の製作実習を体験しました。また、東京都立産業技術研究センターを訪問して最新技術の紹介を受けました。日本文化の茶道や琴の体験もでき、都立産業技術高専ロボット研究部のクラブ活動の紹介を受けました。ありがとうございました。



写真 12 インターンシップ報告をするセレンゲさん

◆司会

モンゴル国内でのインターンシップについて、受け入れ企業の代表者と参加学生に報告して頂きます。

●中村優太様（会澤モンゴル株式会社工場長）

本日はセミナーにお招き頂きありがとうございます。

弊社はモンゴルで生コンを製造している日本企業である。今年は2名のモンゴル高専生をインターンシップとして受け入れた。高専生は実習では時間をきちんと守り、大変真面目に作業に取り組みました。来年以降も、継続的にインターンシップとして受け入れていきたい。

●ホンゴルズ様（ムヒア株式会社 エンジニア）

ムヒア株式会社はモンゴル高専と交流している会社で、建設の施工をしています。今年は5名の学生をインターンシップに受け入れ、日本大使館の屋根の防水工事を行いました。防水シートを使った新技術を採用しました。実習では朝早く出勤すること、使った工具の整理整頓をすること、また、技術者としてはどのようにして働くかということを指導しました。今後もモンゴル高専の学生を受け入れる予定

です。



写真 13 インターンシップ紹介する中村優太様（会澤モンゴル株式会社工場長）



写真 14 インターンシップ紹介するホンゴルズル様（ムヒア株式会社 エンジニア）

●バサン君（モンゴル高専5年、ムヒアでのインターンシップ）

私は6月14日から7月24日まで、ムヒアでインターンシップをしました。実習では、モンゴルでは新しい技術を使って日本大使館の屋根の防水工事をしました。プラスチックのPPCシートを使い、切断、貼り付け、ドリルを使って穴あけ、固定の作業などを行いました。実習を通して仕事を正確にすることの大切さを学びました。ここからもこの身に着けた技術を使って頑張っていこうと思います。皆さんありがとうございました。



写真 15 インターンシップ報告をするバサン君

●ムングンチメグ様（モビコムコーポレーション人事開発部長）

モンゴル高専とは2015年から関係させていただいている。モンゴル高専の学生には安全第1で、組織内でのコミュニケーションを大事にして取り組んでもらえるようにした。インターンシップでは真面目に取り組む、優秀なエンジニアになるものと期待している。外国語を学び視野を広げて将来活躍してほしい。



写真 16 インターンシップ紹介するムングンチメグ様

●トゥブシンサイハン君、オドエルデネ君（モンゴル高専4年、モビコムでのインターンシップ）

私たちは6月23日から7月6日までの間、モビコムでインターンシップを行い、さらに8月末までアルバイトとして働きました。モビコムは通信会社で、光回線に使う光ケーブルの取り扱いに関する知識と実技について学びました。時間を守ることとコミュニケーションの大切さを学びました。将来は仕事を作り出すことをして、起業したいと考えています。皆さんありがとうございます。



写真 17 インターンシップ報告をするトゥブシンサイハン君、オドエルデネ君

●ムンフチメグさん（新モンゴル高専4年、ナチュラルエッセンシャル株式会社でのインターンシップ）

私は将来自分の商品を作りたいと考えており、ナチュラルエッセンシャル株式会社の社長は見本として憧れている女性社長です。そこで学びたいのでインターンシップにお願いしました。インターンシップではモンゴルから日本へ、バラのエッセンス利用スプレーなどのオーガニック製品を輸出する際の安全性、品質、生産管理などについて調べました。将来は会社を起業したいと考えています。



写真 18 インターンシップ報告をするムンフチメグさん

●ブリ君（新モンゴル高専4年、ユニメディア株式会社でのインターンシップ）

6月19日から7月7日まで、ユニメディアでインターンシップをしました。ユニメディアはソフトウェア会社で、日本のモンゴル支店です。プログラム言語やアプリの制作法について学びました。将来はここで学んだことを使って働きたいです。

◆司会

以上のように学生は短い期間でありましたが、大変よい実習経験をしました。受け入れ企業の皆様には感謝いたします。

それでは今年のインターンシップについて明らかになった課題と今後の取り組みについて、中西理事長に話をさせていただきます。

●中西佑二理事長（日本式高専をつくる支援の会）

菊地公使参事官はじめ皆様には、貴重なお言葉を頂き感謝いたします。

品川区の取り組みとしては、今年JSTのさくらサイエンス事業として実施しましたが、来年度も8、9月にインターンシップに関連した事業を予定しています。今年度の日本でのインターンシップは、3名ずつの2社で6名を受け入れました。来年度は品川区として1企業に2名の学生を受け入れ、3社で合計6名を予定しています。また、今年と同様に日本装芸株式会社のように、大田区や横浜市でも受け入れていただける会社を探します。現状では、モンゴルの状況を理解している日本の中小企業が少ない。受け入れ企業としては、モンゴルを理解し、日本の企業に就職して将来モンゴルでの起業を考えている企業、独自の技術や商品を持ち、しっかりしたインターンシッププログラムにより指導してくれる企業を探そうと考えています。

モンゴル学生を日本企業にインターンシップとして受け入れる際には、次の6項目の経費が掛かる。

①渡航費、②宿泊費、③生活費、④交通費、⑤通信・連絡費、⑥保険費などである。さらにこのほかに、日本企業への受け入れ打診、通訳、日本・モンゴル間の連絡などにも経費が掛かる場合がある。

積極的に受け入れてくれる企業を探しているところであり、3高専の方々のご協力をお願いします。皆様の支えになることをしていきたい。これからもよろしくお願いします。



写真 19 課題と次年度の取り組みについて話す中西佑二理事長

●ブヤンジャルガル様 (NGO モンゴル高専教会代表、新モンゴル高専校長)

本セミナーは、日本とモンゴルの外交樹立45周年を記念する事業の1つとして実施しました。

モンゴルに日本式高専を設立する動きが約10年前に、日本の皆様の協力で始まりました。感謝いたします。当初から関わっていました科学技術大学高専の前校長のガンバヤル氏の遺志を繋いでいきたい。ジグジツト元大使にはこの間、変わらぬ支援をいただき、感謝します。また、本インターンシップにご協力いただきました企業様に感謝します。日本企業でのインターンシップは大変難しく、中西理事長が指摘されたように6つの課題があります。これらの課題を越えて実施して頂き、感謝いたします。

石蔵様、中村様モンゴル国内の企業の皆様、ありがとうございます。高専のインターンシップを皆様の協力で6つの課題を超えて続けていきたいと思えます。今後ともご協力をよろしく。産業の発展、そしてモンゴルだけでなくアジアの諸国の発展にとっても良い方向に持っていけるよう努力していきたいと思えます。



写真 20 本日のセミナーについてまとめを語るブヤンジャルガル高専協会代表

◆司会

本日は皆様の協力で有意義なセミナーになりました。ご協力ありがとうございました。
学生諸君には後程、インターンシップについてのアンケートを行います。ご回答ください。

最後に、写真撮影を行います。



写真 2 1 参加者の集合写真



写真 22 インターンシップ発表学生



写真 23 参加者



写真 24 モンゴル高専協会メンバー
(左から、ブヤンジャルガル、中西、バイガルマ、セルゲレン、ガンビレグ)

参加者からアンケートを取りました。集計結果を掲載します。

アンケート集計

★ モンゴル全高専インターンシップ・就職セミナー参加者へのアンケート集計結果

◆ アンケートの質問事項と（回答数）

今後、このような行事を開催するにあたって、参考にさせていただきます。アンケートにご回答ください。（ ）内には該当するところに○を、【 】内には必要事項をご記入ください。

1. あなたのプロフィールをお尋ねします。

在籍校 (29) モンゴル科学技術大学附属高専
(37) モンゴルコーセン
(37) 新モンゴル高専

学年：【 】年生

所属学科 : (44) 建築、土木
(22) 電気
(11) 物質、バイオ
(26) 機械
() その他

2. 将来の進路を決めていますか。

- (1) (61) 決めている。
(2) (28) ほぼ、決めている。
(3) (4) 決めていない。

3. 進路はどのように考えていますか。

- (1) (66) 進学 (4) (3) わからない
(2) (29) 就職
(3) (5) その他、具体的に【

4. 本日のセミナーは参考になりました。

- (1) (47) 参考になった。
- (2) (40) まあまあ参考になった。
- (3) (4) あまり参考にならなかった。

5. インターンシップは下記のどちらを希望しますか。

- (1) (11) モンゴル国内
(2) (83) 日本
(3) (7) その他、具体的に【

6. インターンシップ先はどちらの方面を希望しますか。

- (1) (64) 企業
(2) (11) 官公庁
(3) (33) 大学・研究機関
(4) (6) その他、具体的に【

7. 日本でのインターンシップを希望する方にお聞きします。

どのような情報がほしいですか。

- (1) (69) 受入先の詳しい情報

(2) (19) 宿舎の情報

(3) (32) 費用についての情報

(4) (12) その他、具体的に 【 】

8. これからどのようなセミナーを開いて欲しいですか。

(1) (69) 今後もこのようなセミナーを開いて欲しい。

(2) (26) もっと違ったセミナーを開いて欲しい。

具体的にテーマがあれば書いてください。【 】

ご協力、ありがとうございました。

設問で、その他の回答

3. その他： 違う学科に進学する、日本の大学に進学する

5. その他： 両方インターンをやってみたい、日本とモンゴル以外の国

6. その他： 現場

7. その他： 全部知りたい、学生を選ぶ方法、インターンの期間、インターン全体のプロセス

8. その他： 就活、建築とインフラに関するセミナー、留学、モンゴルでの就職、

TedX みたいな新技術に関する発表会